

08

2016-2017
AUGUST

Vol.2

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 8月号



ROTARY
SERVING
HUMANITY

The Ideal of service — ロータリーの根幹精神 —

CONTENTS

- 01 **ガバナーメッセージ**
会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて ガバナー 松本 進也
- 02 会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって
- 03 2019-20年度 ガバナー候補者推薦について
- 04 第3ゾーン ロータリー戦略計画推進セミナー 報告
- 05 春のRYLAセミナー 報告
- 06 青少年交換 来日生・派遣生 歓送会報告
- 07 ローターアクトクラブ 地区献血 報告
- 08 インターアクトクラブ 新入生歓迎会 報告
- 09 2015-16年度 DDF・DG配分実績 報告
- 11 コーディネーターニュース
- 12 「ロータリーの友」誌 推奨記事のご紹介
- 13 文庫通信
- 14 お知らせ



ガバナーメッセージ 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **松本進也**
(大阪北RC)



会員増強は新会員の勧誘、現会員の退会防止、新クラブの結成(拡大)、この3つの部分から成り立っています。

会員増強につき、各レベルからご紹介申し上げます。

まず、RIからは、ジョン・F・ジャームRI会長がサンディエゴ国際協議会にて、「ロータリー財団100周年」、「ポリオ撲滅」に並び、「会員増強」を重点項目として列挙されました。単に数ではなく、将来にロータリーのリーダーになれるロータリアンの増強を目指すと言われました。また、会長賞6項の中でも「会員の増強と維持」を第1項目に掲げておられます。

4/10-15に開催の2016年規定審議会では、会員資格や入会金などクラブに裁量権を与え、自主性を重んじる議決が多くなされました。これも会員増強の一環と推察します。

また、RIが推奨する「ロータリー戦略計画」では①クラブの活性化とサポート、②人道的奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上を三本柱としています。いずれも会員基盤の強化を指す方策であります。

次に、日本を3ゾーンに分割し、当地区は第3ゾーンに属しますが、7/9に当地区で「第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー」が開催され、ゾーンレベルでの戦略計画が討議されました。

第2660地区では、クラブ奉仕・拡大増強委員会を中心として、取り組みます。

このように会員増強はRI、ゾーン、地区が一丸となって注力すべき課題であります。最も重要な役割を担い、会員増強の礎であるのは最前線であるクラブそのものであります。

また、勧誘と退会防止の一策は「魅力あるクラブ活動と広報」ではないでしょうか。

各クラブでは会長方針に基づき、クラブの特性を生かした各種活動を展開されておられます。引き続き、各委員会にも協力を求め、より良き活動を推進すると同

時に、折角の活動を当事者レベルで留めるのではなく、広報活動(公共イメージと認知度の向上)を効率的に実施し、関心を内外に高めることも必要です。所在地域に根を下ろし、且つ地域住民の希望に応える。これは外なる広報です。そして、内なる広報とは会員への周知活動です。自クラブの活動を知り、選択肢を多く持ち、参加することでロータリーへの関心が持続することでしょう。

まず、「クラブがどのような活動を行っているのか」を内外に知って頂き、門戸を無限に広げること。我々が懸命に活動し、地域社会に還元することで、その魅力はより多くの人に周知されます。ロータリーに興味を持つ人が増え、新入会員の獲得に繋がれば、参加者は増加します。結果、より活発な活動となり、クラブ活動は一層発展するでしょう。この相互的行為が未来永劫持続すれば新会員は安定数が見込め、現会員の退会防止の一助となるに違いありません。

新クラブの結成は、地区戦略計画委員会にて提唱、推奨されている衛星クラブやEクラブがあります。これは、是非、クラブの中長期計画に組み込んで頂き、長い視点を持ち、確固たる意志を持って挑戦して頂きたいと存じます。

輝けるクラブ運営、魅力あるクラブ活動の為、地区はクラブを支援する立場から協力を惜しみません。

共に智慧を出し、素晴らしき実績を残すべく、歩んで参りましょう。



会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

新居 誠一郎

(大阪南RC)



8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。本年度の地区の具体的な目標の1つに、「戦略計画の推進(会員増強)」が掲げられています。

戦略計画の3本柱は

- ①クラブの活性化とサポート。
- ②人道的奉仕の重点化と増加。
- ③公共イメージと認知度の向上。

この3つの戦略をバランス良く実施することが会員増強に繋がります。但し、ロータリー精神を持ち、将来のリーダーシップを持つ人の入会が必須です。当委員会としては1クラブ純増2名の達成を目標に掲げています。

本年度のための会員拡大増強セミナーを本年度が始まる前の2016年6月18日(土)に大阪YMCAに於いて開催いたしました。

神崎茂パストガバナーには「会員増強」について講演いただき、「①会員増強が今求められているが、量よりも質が大切であるという意見もあり、結果量も質も両方とも重要であるという結論。」「②毎年自然減があり、まず補充することが必須だが、更に大切なことは若年者の入会を積極的に勧めていく

ことで、会員年齢のバランス維持を計ることが重要である。」等、有意義なお話を頂きました。

続いて、会員増強戦略シートを用い自クラブの強み・弱みを分析してもらい、会員規模を同じくするクラブ間での意見交換を行いました。

その後、大阪大淀・大阪城南・くずは・大阪うつぼ・東大阪の5クラブでの会員増強に対する取り組みを報告いただきました。自クラブの今後の会員増強の戦略に役立ててもらえれば幸いです。

会員の勧誘には、勧誘しやすい環境を作る必要があります。ロータリーの認知度を高める必要があります。人道的な奉仕活動を通じて、公共イメージのアップを計ることが重要です。又、会員の維持には、クラブの活性化が重要で、人道的な奉仕活動に積極的に参加することでロータリアンとしての自覚が芽生えます。そして、例会以外の同好会活動等に参加することで友情が育まれ、ひいては退会防止に繋がります。

会員の維持と増強には絶対的な有効策はありません。会長・会員増強委員長の強い決意とリーダーシップを発揮し、クラブ全員で取り組むことを切にお願い申し上げます。



2019-20年度ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **松本進也**

(大阪北RC)

地区ガバナー指名委員会 委員長 **立野純三**

(大阪RC)

R I 細則第13条13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2019年-20年度ガバナー候補者がおられましたら、2016年10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、2019-20年度に地区ガバナーにノミネートされるための資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1~15.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニ候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

R I 細則第13条13.020.5 (参照)



国際ロータリー 第3ゾーン ロータリー戦略計画推進セミナー 報告

地区代表幹事 **浜田 晋**
(大阪北RC)

2016年7月9日(土) 11:00～16:00大阪新阪急ホテルに於いて国際ロータリー第3ゾーン ロータリー戦略計画推進セミナーが開催されました。

当2660地区高島凱夫パストガバナー(第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐)による開式のことばに始まり、斉藤直美RI理事によるご挨拶(要旨・J・ジャム会長が未来思考のルールを決定した。これでロータリーの潮目が変わったと言われた。これからは若者がロータリーを選ぶ時代となるだろう)に続き、松本ガバナーが歓迎の挨拶(要旨・ロータリーの最終地点は会員増強である。本会議は各地の事例を知る絶好の機会である。)が述べられた。

以降安満良明ロータリーコーディネーターによる「会員基盤の充実の戦略計画」(要旨・戦略計画の3つの柱は職業奉仕をメインとしたクラブの自主性と多様性の強化である)

当地区横山守雄パストガバナー(ロータリー公共イメージコーディネーター)による「公共イメージ向上の戦略計画」(要旨・ロータリアンこそがロータリーの価値を最も良く知っているロータリアン自身が最も強力なメディアである)

村上有司ロータリー財団地域コーディネーターによる「ロータリー財団の戦略計画」(要旨；ロータリー財団への寄付は単なる責任ではなく、活動費となる寄付

であることを認識しよう)とブリーフィングがあった。

午後からは杉谷卓紀直前RI理事による講演「国際ロータリーの現状」(要旨・日本の3ゾーンを維持できるギリギリの会員数となっている。ロータリーとロータリー財団の方針がようやく統一できた。)に続き、4部門(1. 地区クラブと戦略計画 2. 会員補強と維持と社会奉仕 3. 公共イメージ向上の戦略計画 4. ロータリー財団の戦略計画)10テーブルに分かれての部門別会議とグループ発表が行われました。

最後に杉谷卓紀直前RI理事の講評(要旨・本日収集した情報を活用し、各地区の戦略計画の推進をチェックしてほしい)があり、報告事項として2720地区永田壮一ガバナーエレクトから熊本震災に対するお礼と現状報告があり、本セミナーは閉会となった。





春のRYLAセミナー 報告

2015-16年度 青少年活動委員会 委員長

高橋 一雅

(大阪北RC)

2015-16年度の春のRYLAセミナーは、4月29日～5月1日に2泊3日でホテル・ロッジ舞洲にて開催されました。受講生は46名、ホストは大阪西北RCです。

今回のテーマは「いのちをつなぐ～感動を行動に～」(もしものとき、あなたは知識を活かして行動できますか?)。基調講演は日本赤十字大阪府赤十字血液センターの安原武志さんの「献血 みんなでつなぐ いのちのリレー」、そして基調講演の冒頭に小児ガンで7歳の生涯を閉じたカズ君の母、看護師の光武綾さんのお話とDVD「愛してるよカズ(小児ガンと闘った母親と息子の愛の記録)」の放映がありました。

輸血があったからこそ7歳まで生きたカズ君の壮絶な体験を聞き、皆涙しました。不足する輸血の現状を聞き、血液をどうしたら献血で補えるか、これが2日目の研修に繋がっていきます。

基調講演の後、受講生はロータリーパパのもとに7班に分かれて集合。チームRYLAによって、「人間知恵の輪」や「マシュマロチャレンジ」の研修でグループ内のコミュニケーションが高められていきます。

2日目の朝は、快晴の空の下、海辺をジョギングしてから朝食。午前は「貿易ゲーム」でマネジメントの研修。

午後は安原さんの指導で、「AED」、「救急救命」の研修。この研修は実地訓練でありハードな体験でした。

さらに、班ごとに「献血呼び込み大作戦」の企画書を作成し発表。

夕食は屋外でBBQ。夜はいよいよロータリーパパを囲んでの座談会です。普段、中々聞くことのない経営のリーダーとの話を通して受講生は何を吸収していたのでしょうか。

最終日の朝は受講生から最も充実感を感じる時とされます。朝食後、班ごとにグループ発表の準備、午後は各班の発表!と続きました。

RYLAセミナーは体験型セミナーです。その成果は数値で測れるものではありません。3日間の体験のすべてがRYLAセミナーなのです。チームRYLAのリーダーが自分の体験談も交えて研修終了を告げたとき、皆さんの拍手がなりやみませんでした。

受講生の皆さんと共にやり遂げた3日間。ロータリーパパの皆さん、大阪西北RCの皆さん、チームRYLA、地区委員の皆さん、参加頂いたすべてのロータリアンの皆さん、素晴らしいRYLAセミナーを有難うございました。





青少年交換 来日学生・派遣学生 歓送会 報告

2015-16年度 青少年交換委員会 委員長

磯田 郁子

(大阪東淀ちゃやまちRC)

日時：2016年6月11日(土) 17:30～19:30

場所：シティプラザ大阪

参加者：泉PG(青少年担当顧問)、松本GE、片山GN、山本GD、溝畑学友委員長、丸尾ローターアクト委員長、磯田委員長、稲邑副委員長、西邨委員、出口委員、横田委員、伊藤委員、高田委員、西川次年度委員、松尾次年度委員、朝田次年度委員、植田元委員長、ホストファミリー、クラブ担当者、来日学生5名、派遣候補生8名、RAC4名、ROTEX11名など(合計69名)

2015年8月より当2660地区に青少年交換学生としてやってきた5名(アメリカ2、カナダ1、フランス1、フィンランド1)の学生が派遣期間を終えて、帰国するのを前にお世話になったホストクラブ、ホストファミリー、地区関係者などをお呼びし盛大な歓送会を開催しました。この歓送会はこの夏より海外に派遣される日本の高校生8名(派遣国：アメリカ4、フランス2、カナダ1、フィンランド1)の壮行会も兼ねています。

来日生は1年弱の期間を日本の高校で学び、ホストファミリーと生活し、様々な忘れがたい思い出がたくさんできたことでしょう。

この歓送会に先立って開催された来日学生による日

本語スピーチコンテストでは、その日本での思い出や感じたこと、経験したことをすっかり上手になった日本語で披露してくれました。この5名の来日生は皆、日本に興味を持ち、日本文化に魅せられ、日本の人々が大好きになりました。きっと近い将来また日本に、そして大阪に戻って来てくれるに違いありません。

派遣生も無事に8ヶ月のオリエンテーションを終了し、それぞれの派遣国へ旅立つときが近付いてきました。初めはやや頼りなかった派遣候補生が立派な堂々とした派遣生となり、参加者の前で意気込みを語りました。彼らは来年の7月に帰国します。その時は今よりももっと大きく成長した姿を見せてくれることでしょう。





ローターアクトクラブ 地区献血 報告



2016-2017 年度
地区ローターアクト代表 大角慶規 所属：大阪東 ローターアクトクラブ

はじめまして。今年度地区ローターアクト代表を拝命いたしました大角慶規と申します。平素はローターアクトクラブ（RAC）の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度は地区ローターアクトのターゲットを「発-2660ism-」とし、地区内外のロータリーファミリーやロータリーファミリー以外への情報発信力の強化、地区内各クラブの活動の質の向上を目指し、地区の活動を行います。ローターアクトが当地区のロータリーファミリーの一員として、しっかりとした活動を行ってまいりますので一年間どうぞよろしくお願いいたします。

7月に開催された行事

第1回地区献血（7月23日） ホストクラブ：大阪RAC

毎年、輸血用血液が不足する夏と冬の2回実施する当地区ローターアクトの継続事業です。

夏は猛暑や長期休暇の影響で献血者数が減少する傾向にあります。

そこで、地区内ローターアクターが呼びかけ運動を行っています。

今年度は、年間採血者数を目標600名とし、難波・京橋・千里中央・大日・樟葉の大阪の5地点にて呼びかけを行いました。



当日は、約200名の参加者でローターアクターだけではなく、ロータリアンの方やインターアクターも集まったのロータリーファミリー丸となる事業となりました。

地区社会奉仕委員会の皆様をはじめ、多くのロータリアンの皆様にお越しいただき、献血の呼びかけにご協力いただきました。本当にありがとうございました。

結果といたしましては、10時から16時までの活動で

受付者数 409名、採血者数 311名。

血液量に換算すると123リットルの採血量でした。

これは、体重60kgの人であれば約27名分にあたります。

皆様のご協力があったからこそその結果です。

次回第2回地区献血は、2017年2月26日（日）です。

これからも未来を見据え、目的意識をもって

しっかりと活動してまいります。

たくさんのご支援、ご協力ありがとうございました。



松本ガバナーも朝からご参加いただき、5地点全てを回っていただきました。



インタラクティブ 新入生歓迎会 報告

インタラクティブ委員会 委員長 **小池 貢**
(大阪帝塚山RC)

2016年6月5日、清風学園のお世話で羽衣青少年センターにて新入生歓迎会を開催いたしました。

立野純三ガバナー、泉博朗直前ガバナー、松本進也ガバナーエレクトを始め、38名のロータリアン、インタラクティブと各校顧問の皆さん179名、そしてロータリアクターと米山奨学生から3名、総勢221名が参加いたしました。

あいにく、当日は朝から雨模様の中での開会となりました。インタラクティブたちは17班に分かれ、焼板を作りました。各校のインタラクティブが入り混じった班構成で、普段は接することのない他校のインタラクティブたちとも交流しながら、みんな大変楽しそうに作業に取り組んでいました。

お昼の食事はバーベキューです。バーベキューの準備を始めるころには雨も上がり、バーベキュー日和となりました。

インタラクティブたちの様子を見てみると、どうやら火熾しをしたことがない生徒が多く、いよいよロータリアンの出番です。ロータリアンはそれぞれの班を見て周り、火熾しの手伝いをしました。火は熾せたものの、残念ながら炭の量が少なく、大量の肉などを焼くには火力が足りません。管理事務所に交渉してやっとバーベキューを楽しむことが出来ました。

火熾しに手間取ったり、火力が弱かったりというト

ラブルはありましたが、それだからこそ、インタラクティブとロータリアンはよい交流が出来たのではないのでしょうか。

今回の新入生歓迎会で経験した、他校の生徒たちやロータリアンとの交流を通して、インタラクティブひとりひとりが、リーダーシップや役割分担、そして協力の大切さを学んでくれたのではと思います。

今後もインタラクティブの活動を通じて、インタラクティブたちが成長する姿を見せていただくことを楽しみにしています。

また、ロータリアクトや米山奨学生のみならずにもご参加いただくことで、横のつながりを持ちながら、これまで以上に活動の幅を広げていきたいと考えています。





2015-16年度 DDF・DG配分実績 報告

ロータリー財団委員会 委員長

宮里唯子

(茨木西RC)

『地区の参加資格認定：覚書 (MOU)』の「7.補助金の使用に関する報告」要件に基づき、地区財団活動資金 (DDF) の使用に関して地区財団委員会より以下御報告を申し上げます。

■2015-16年度 (立野ガバナー一年度) の地区財団活動資金 (DDF) の配分実績

	収 入	支 出	残 高
2012-13年度 年次基金寄付の50%	\$341,946.48		
利用可能な恒久基金収益の50%	\$26,079.05		
2014-15年度からの繰越金	\$144,864.01		\$512,889.54
寄贈分野 (ポリオ・プラス)		\$120,000.00	
寄贈分野 (ロータリー平和センター)		\$20,000.00	\$372,889.54
地区補助金(DG)		\$139,044.00	
グローバル補助金のためのDDF			
豊中RC		\$20,000.00	
茨木西RC+大阪柏原RC		\$10,000.00	
大阪御堂筋本町RC		\$5,000.00	
大阪中之島RC+大阪西南RC+茨木RC		\$30,000.00	
大阪東RC		\$19,250.00	
大阪RC		\$5,000.00	\$144,595.54
地区補助金臨時費残 返金	\$13,452.58		※ \$158,048.12

※2016-17年度に繰り越し



■2015-16年度(立野ガバナー年度)の地区補助金(DG)の配分実績

クラブ	活動の種類	活動内容	実施地	配分額 (US\$)
大阪南	教育	児童福祉施設野球部の子供達に試合会場の手配と用具を寄贈	日本	5085
東大阪	教育	孤児の為に音楽教室備品を寄贈	ベトナム	1803
吹田西	地域社会の発展	津波被災地の保育園に浄水装置を寄贈	日本	1907
高槻東	地域社会の発展	地域社会の活性化と青少年の育成をめざし、市民参画型イベントを開催	日本	2966
大阪柏原	教育	養護施設の児童と生徒を遊園地に招待	日本	4576
大阪西	教育	児童擁護施設に備品や教材を寄贈	インドネシア	2315
茨木西	教育	児童福祉施設に備品や教育用資材を寄贈	日本	1847
大阪リバーサイド	地域社会の発展	津波被災中学校を招き和太鼓発表会を企画、地元中学生と交流をはかる	日本	5085
大阪中之島	地域社会の発展	東日本大震災の被災児童と学生に教育用資材を寄贈	日本	3359
箕面	地域社会の発展	地元市民及び観光客の為に公園を整備	日本	5085
交野	地域社会の発展	地元里山で、市民や小学生とともに植樹	日本	4576
大阪西南	教育	福祉施設の児童を遊園地に招待	日本	1853
大阪うつば	地域社会の発展	被災地で仮設住宅の高齢者に農作業用ビニールハウスを寄贈	日本	2424
大阪堂島	地域社会の発展	被災児童や学生の為のキャンプを実施	日本	2575
大阪北梅田	教育	新設特別支援学校に教材を寄贈	日本	2121
八尾東	地域社会の発展	福祉施設と共同で芸術の振興を目的に展示会を開催	日本	4271
くずは	教育	留守家庭児童会に図書を寄贈	日本	2005
大阪大手前	教育	重度の障害をもつ園児を水族館に招待	日本	3146
大阪難波	地域社会の発展	肢体不自由者が就労する飲食店に厨房機器を寄贈	日本	3805
吹田	水	貧村にトイレと井戸を提供	ミャンマー	3673
豊中千里	保健	僻地で医療に関する啓発、診療と医薬品を提供	カンボジア	2669
大阪御堂筋本町	地域社会の発展	津波や地震についての考えるシンポジュームの開催	日本	3407
東大阪東	地域社会の発展	地域住民のための福祉・税務・医療に関する相談会を開催	日本	3390
大阪梅田	地域社会の発展	知的障害をもつ青少年と父兄を野球観戦に招待	日本	1897
大阪心斎橋	保健	栄養不良児童のために食品、父兄に食育セミナーを提供	フィリピン	1695
八尾中央	地域社会の発展	被災小学校運動場にテントを寄贈	日本	2135
茨木	地域社会の発展	被災地緑化作業に参加し、必要な用具を寄贈	日本	2034
箕面千里中央	教育	貧しい母子のために教室を整備し教科書を寄贈	フィリピン	1697
門真	地域社会の発展	地域住民のために防犯カメラを設置	日本	1831
大阪なにわ	教育	日越学生に弁論大会を開催、国際交流を推進する	日本	2542
大阪ユニバーサルシティ	教育	児童福祉施設の児童を遊園地に招待	日本	4322
高槻西	保健	貧しい村々をまわり、医療活動を実施	インド	1754
大阪帝塚山	教育	障害児のための小学校の教室改修	フィリピン	2542
大阪船場	地域社会の発展	被災者が製作する製品販売促進事業の為の備品を寄贈	日本	3814
大阪フレンド	教育	視覚障害者施設に録音図書を寄贈	日本	1907
大阪東	教育	貧困な大学生に奨学金を提供	ベトナム	3000
豊中	教育	日本で就学する留学生に奨学金を提供	日本	1716
地区	管理運営費	銀行振込み手数料	日本	352
地区	臨時費	タイ山岳地帯の村落に、浄水器を設置	タイ	21493
			合計額	128674



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2016年8月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 2 RC

■ 規定審議会

2016年の規定審議会ではロータリーの歴史上、革新的な内容が多く含まれています。各クラブの裁量が大きくなり、クラブ自体の責任の重さと選択肢が増え、地区およびクラブのリーダーの方々は困惑されていると思います。

規定審議会に出られた日本の代議員の方は日本と世界の乖離があり、価値観、宗教、言語も違い、一つのルールでまとめるのは困難と感じておられました。日本と世界は流れが異なっており、日本が孤立しないよう、批判をするのではなく世界に働きかける行動が必要であると思います。選択された立法案は高齢化していくロータリーを止めるために、若い人の入会を促進するためにハードルを下げた感があります。日本のロータリーはきちんと素晴らしい運営をしています。他の国に示しをつける価値観を持ち続けてほしいと思います。いずれにしても各クラブが主体です。各クラブの裁量権をもってルールを決めてください。

■ 2016-17年度目標

RIテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。全体の目標はまさしく戦略計画の3つの優先項目そのものであります。特にロータリー財団100周年の年でもあり、財団目標も盛り込まれています。

■ 戦略計画

地区にもクラブにも戦略計画は必要です。地区とクラブの戦略計画を整合し、ダイナミックなクラブを築きましょう。戦略計画はクラブや地区が将来こうありたいというビジョンを描き、それに添った目標と行動計画を立てることです。そのためには、単年度を超えた長期的視点が必要です。My ROTARYに登録して、役立つ情報からスキルと知識を高めてください。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	832	28,734
Zone 2	653	28,210
Zone 3	794	33,008
合計	2,279	89,952

■ My ROTARY未登録者

Zone 1	23,755	82.89%
Zone 2	22,712	80.58%
Zone 3	28,793	87.26%
世界の未登録者は		71.59%

■ BOX登録件数

Zone 1	41件
Zone 2	15件
Zone 3	79件

6月末現在 合計 135件

2016年6月28日現在のClub Centralのデータです。



ロータリーの戦略計画と目標



国際大会に出席したことがあるロータリアンは早期退会はしないというジンクスがあるそうです。2016年ソウルの国際大会には日本から約7,000人の登録を得て、ロータリー史上最高となる43,000人が150カ国以上から集まりました。(正式な最終登録者数は後日、RI本部より発表される予定です。) 会場の規模も、アトラクションも、それに応えるものでした。多くのブースがあり、コーディネーターも地域リーダーのブースにてお手伝いをしました。3月シカゴ郊外のエバンストンにあるロータリー本部で研修をしてきた世界中のコーディネーター仲間と再会できました。日本からのガバナー、ガバナーエレクトにも会場でお会いしましたが、残念ながらブースに立ち寄りられた方は少数でした。アトランタでも設営されると思いますので、次回はぜひお立ち寄りください。(Zone2 RC 田中正規)



「ロータリーの友」誌 8月号推奨記事のご紹介

ロータリーの友 地区委員 **一瓢 秀次**
(大阪北RC)

【8月号 横組書記事より】

- P.16 数字で見るロータリーの会員状況 … 日本の会員数の大幅減少
- P.30 東日本大震災鎮魂の碑際訪問記 東大阪東ロータリークラブ
- P.31 語り継ぐ津波の脅威～東日本大震災から学ぶもの
大阪御堂筋本町RC 2015-16年度東北震災支援プロジェクト担当副会長 高原政巳
- P.36 例会出席は義務ですか？ 楽しみですか？ … 新会員向け
- P.46 ボランティア活動を行い、地域への貢献に対する評価を得ている成人は、幸福度が高く、
ストレスが少ない
- P.48-49 2016年規定審議会：クラブ運営に大幅な柔軟性

【8月号 縦組書記事より】

- P.4 「時代に向き合い人に寄りそう」より
(P.7) 執筆者 岡谷社長が岡谷鋼機の紹介記事の中で、自社が会員になられている
エノキアンクラブについて
加入資格が、創業200年以上、創業者の子孫が経営、現在も健全経営の3つで、
日本企業では5社のみ
- P.13 最年長？ の新会員
- P.17 人頭分担金を増額する制度案に反対しませんか

貴クラブの活動のヒントに成ると思います。ぜひご覧ください。
また、貴クラブの活動の様子を「ロータリーの友」へご投稿お願いいたします。
今年度1年間毎月発信してまいります。よろしくお願いいたします。



文庫通信 (346号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献 (4)

- ◎ロータリーにおける歴史の重要性 平島健次郎 関西ロータリー研究会 1973 53p
- ◎ロータリーの国際奉仕 佐竹郁夫 旭川R.C. 1979 20p
- ◎“ロータリー・徽章の物語” — ロータリーの歴史の歩みと共に — 長崎南R.C. 1980 94p
- ◎合理化時代と職業奉仕 西村祥三 関西ロータリー研究会 1983 24p
- ◎ロータリーは何をしているか 鳴海淳郎 1986 19p
- ◎新会員のためのロータリーの歴史 佐藤 侑 1987 48p
- ◎米山梅吉翁物語 長泉R.C. 1989 26p
- ◎ロータリー事始 佐藤 侑 福島南R.C. 1996 38p
- ◎ロータリー雑学のすすめ 長崎南R.C. 1996 86p
- ◎ロータリーマジック 江崎柳節 2010 197P

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



お知らせ

敬 弔 一謹んでご冥福をお祈り申し上げます一

橋本 光司 会員 2016年6月26日逝去 (享年57歳)
(高槻東RC) 幹事、理事、クラブ奉仕委員長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信7月号 訂正

ガバナー補佐 プロフィール

- P10 IM第3組 富永良太
正：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、米山功労者 (マルチプル)
- IM第4組 林 芳繁
正：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者 (マルチプル)
- P11 IM第5組 木岡良介
正：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、米山功労者 (マルチプル)

- 高槻東RC** ①橋本光司会長が急逝されました → 新会長 齊藤昇男
②事務局 電話番号 正：(072) 669-7200

大阪ネクストRC 事務所移転 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-6-12 小学館ビル スタジオB&M内
TEL：(06) 6341-2285 FAX：(06) 6348-1164

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿 (写真付きの場合は一緒に添えて) を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

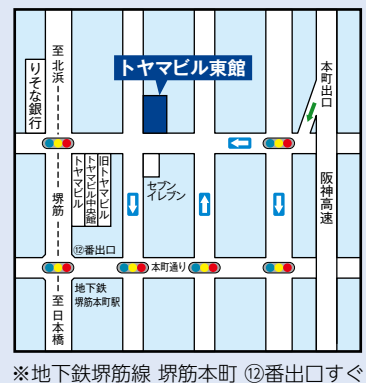
月信編集委員会

- ガバナー 松本 進也 (大阪北RC)
- 地区代表幹事 浜田 晋 (大阪北RC)
- 地区副代表幹事 田中 真人 (大阪北RC)
大野 康裕 (大阪北RC)
- 担当地区幹事 田中 実 (大阪北RC)
小原 楠緒 (大阪北RC)
- 事務局員 加茂 春日

2016-17年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ 所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

ガバナー 松本 進也
地区代表幹事 浜田 晋 TEL (06) 6264-2660
地区副代表幹事 田中 真人 FAX (06) 6264-2661
大野 康裕 E-mail gov@ri2660.gr.jp
事務局長 栗正 久美 ホームページ http://www.ri2660.gr.jp/
事務局員 井上 望美 勤務時間 9:30~18:00
加茂 春日 休日 土曜、日曜、祝日
船橋 美紗子 夏季 2016年8月12日(金)~17日(木)
杉本 亜鶴巳 年末年始 2016年12月29日(木)~2017年1月4日(休)



ガバナー事務所にて会議室(最多36名)を併設しております。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL：06-6264-2660 FAX：06-6264-2661 E-mail：gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660
Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL：+81-6-6264-2660 FAX：+81-6-6264-2661 E-mail：gov@ri2660.gr.jp